

留学体験レポート

国際学部 2年 深口大輔

私はもともと、本学の派遣留学には興味がなかった。というのも、金銭的な面での不安や、環境衛生や食事面での不安もあったのだが、一番の理由は、そもそも海外留学に興味がなかったことである。中国語や中国の文化に特別興味があったというわけでもなかった。だが、留学を体験してきた先輩方の話を聞いているうちに、少しずつ中国留学に対して興味を持つようになった。今回の留学の目的は、中国語の能力を高め、また中国や他の国々の学生と交流をし、異文化を理解することであるが、一番の目的は、中国の実態を見てみることである。今でこそ少なくなってきたものの、メディアによってマイナスのイメージが強調され、家族や周りの人達は中国に対してあまりいいイメージを持っていなかった。なので、その実態を自分の目で見てみたいと思い始めた。もちろん不安はあったが、実家を離れて自分で生活することができるいい機会だったので、中国留学に行くことを決意した。

中国に来たときの第一印象は、空気が悪いことだった。空港の外に出た瞬間にそれを感じることができた。ひどい時には、スモッグで周りがかすんでしまうこともあった。だが、それは1~2週間ほどで慣れ、常にマスクが必要だということもなかった。

また、中国の交通状況は、私にさらに強い印象を与えた。日本と違い、歩行者優先の概念が小さいのか、車が歩行者を待ってから右左折するというのではなく、むしろ歩行者が車をよけて歩くという状況だった。また、自転車やバイクが歩道を普通に走っていることもあった。なので、私は学校の外を出歩くときには、常に周りの車に注意を払っていた。

ここまで、中国の悪い点ばかりを挙げてきたが、もちろん良い点もある。中国人に限らず多くの国の学生は、日本人の私たちに対して親切に、友好的に接してくれた。中国では、私たちが想像していた以上に日本に関するものや事柄がたくさんあり、日本に関心のある人も非常に多い。なので、我々日本人に友好的に接してくれる。また我々日本人には、中国人はマナーが悪いというイメージが少なからずあったが、最近はそれほどでもなく、特に若者はマナーが良く、礼儀正しいことが多い。

今回の留学を通して、私は言語だけではなく様々なことも学べたし、中国の生々しい実態も見ることができた。私は中国留学に行っただけで本当によかったと思う。もし留学に行こうか迷っている人がいるならば、是非参加してほしいと思う。